

中国法定感染症発病概況 2017 年 5 月

The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd.
リサーチ・コンサルティング部門

■発病総数は前月比+27.5%

当月発病総数は677,440例あり、前月比+27.5%となり前月までの減少傾向から一転して増加。過去同月比では、過去平均（過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均）比は-15.6%と二ヵ月連続してマイナスであり、過去平均標準偏差（SD）も-1.1となり、例年に比べ当月の発病総数は少ない。（図表1、図表2、図表3、図表4）

■甲乙類は例年より多く、丙類は前月比1.5倍増

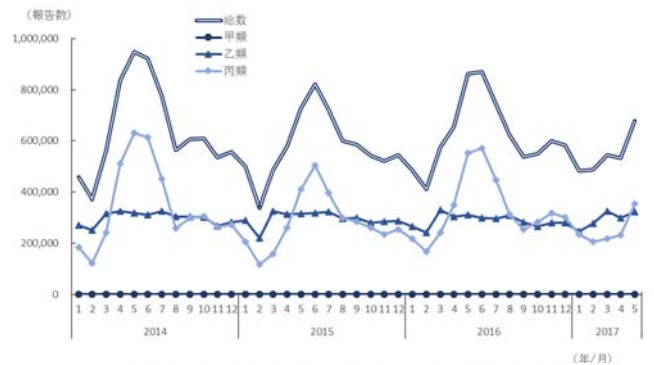
類型（甲乙丙）別*1にみると、甲類は2016年11月から前月までは未発生であり、過去平均でも1.6例であった。しかし、当月、甲類に分類されるコレラが3例発生。

乙類は323,354例あり、前月比+8.0%。前月の過去平均SDは-2.4と例年に比べ乙類の発病数は大幅に少なかったが、当月は+1.3と例年に比べ多い状況へ転じた。

丙類は354,083例あり、前月比+52.7%と大幅に増加。ただし、過去平均SDは-1.2と例年に比べ丙類の発病数自体は少ない。（図表1、図表2、図表3、図表4）

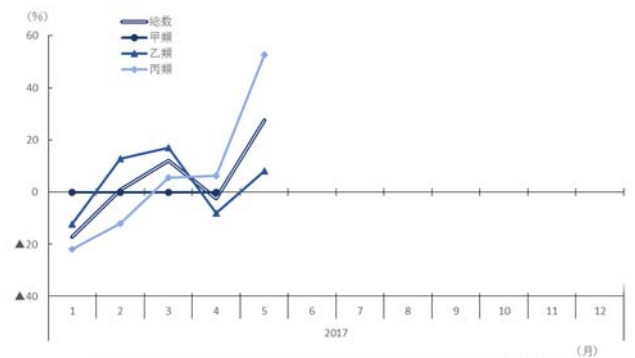
*1)中国は、39の感染症を甲類2(ペスト、コレラ)、乙類26、丙類11に分類。2013年11月1日に、乙類であった新型インフルエンザ:A(H1N1)pdm09を丙類のインフルエンザに集約し、乙類に鳥インフルエンザA(H7N9)を追加。2016年1月からは、ウイルス性肝炎の内訳にD型肝炎を追記。(本資料のウイルス性肝炎は、A型、B型、C型、D型、E型、および、その他肝炎の合算。)

図表1 発病数



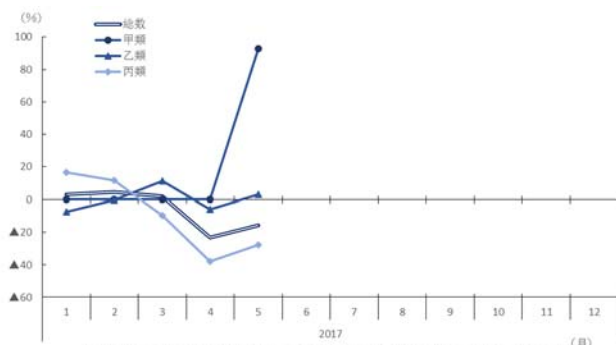
(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成

図表2 発病数（前月比）



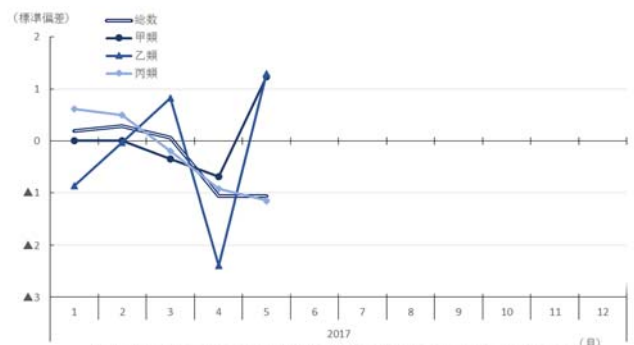
(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成

図表3 発病数（過去平均比）



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成
(注) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均

図表4 発病数（過去平均標準偏差）

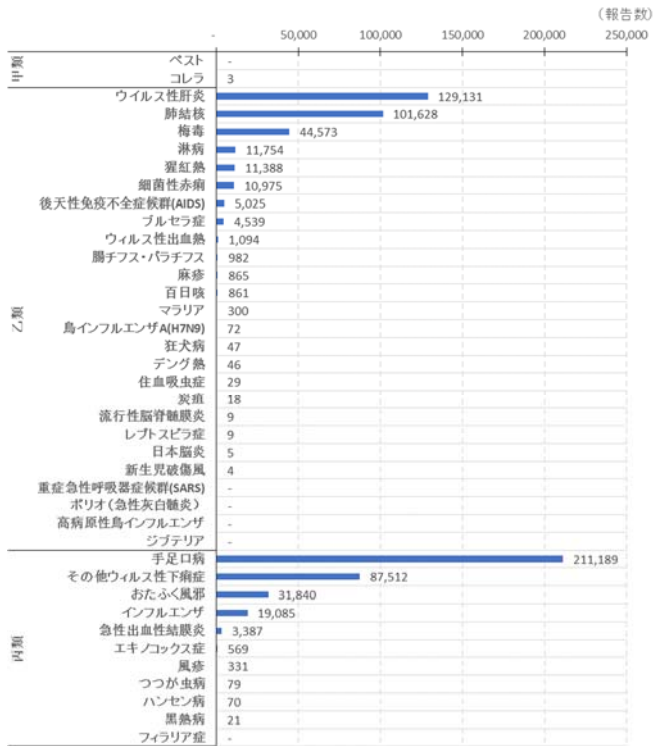


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成
(注) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均

■手足口病は前月比大幅増だが、発病総数は例年より少ない

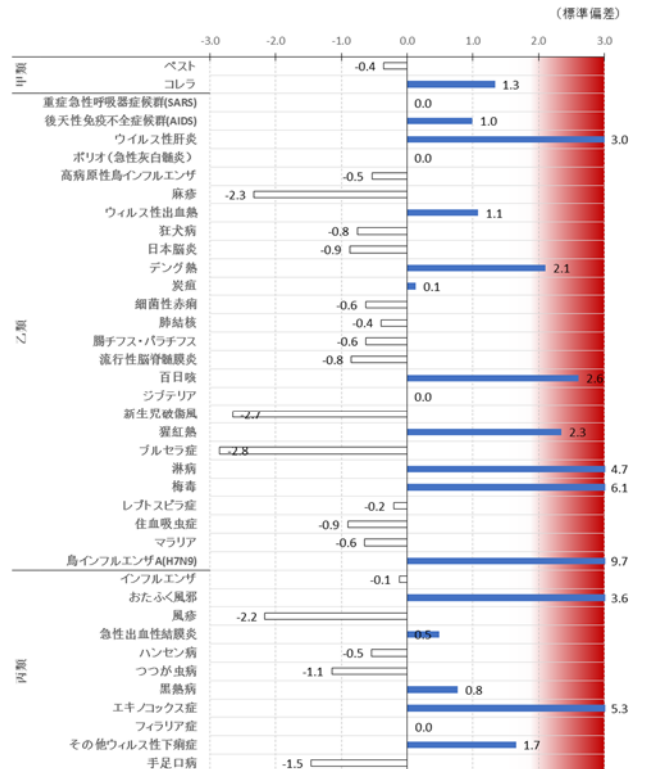
感染症別では、手足口病が211,189例と最も多く、前月から+98,291例となり、前月比+87.1%。この手足口病の増加が当月の発病総数増加の主要因。ただし、手足口病の過去平均SDは-1.5であり、例年と比べると発病数自体は少ない。(図表5、図表6)

図表5 発病数(前月比)
＜当月発病数順(降順)＞



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成

図表6 発病数(過去平均標準偏差)
＜法定感染症統計記載順＞



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成
(注) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均

■例年に比べ、当月非常に多く発生した感染症は9つ

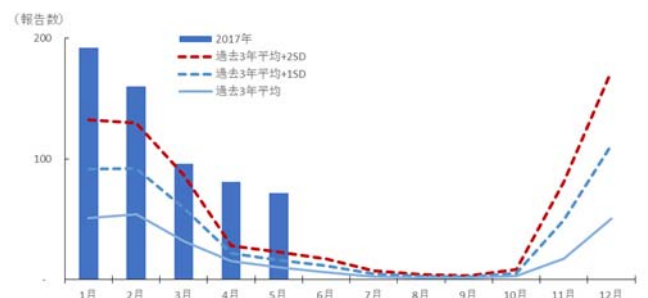
例年に比べ、当月非常に多く発病した(過去平均SDが+2.0を超えた)感染症は9つ。(1)鳥インフルエンザA(H7N9)、(2)梅毒、(3)エキノコックス症、(4)淋病、(5)おたふく風邪、(6)ウイルス性肝炎、(7)百日咳、(8)猩紅熱、(9)デング熱が該当。(図表6)

■鳥インフルエンザAは減少傾向、梅毒はここ最近で最多

鳥インフルエンザA(H7N9)は72例で、2017年1月から当月まで連続して過去平均SDが+2.0を超えて推移。ただし、発病数は減少傾向にあり、国家衛生計画生育委員会は、『5月26日~6月1日は発病数9例、6月2日~6月8日は発病数12例と、過当たり発病数は10例前後と比較的低水準となり、発病状況は落ち着いている。』²と発表。(図表7)

梅毒は44,573例で、2014年1月から当月までの過去41ヵ月のデータを見る限り、当月発病数が過去最多。1月から当月までの5ヵ月累積発病数は195,900例であり、同時期の日本での2,096例³の93.5倍に相当。(図表8)

図表7 発病数(鳥インフルエンザA(H7N9))

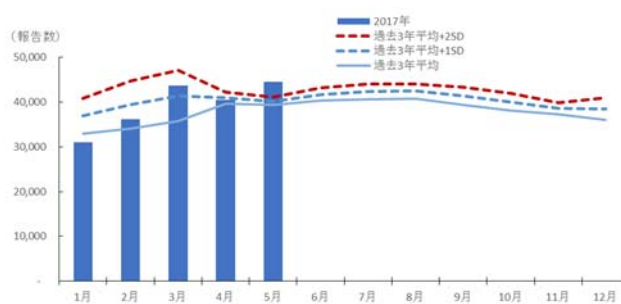


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

*2) 6月2日、および6月9日付け

*3) 厚生労働省国立感染症研究所の感染症発生動向調査 2017 年第 22 週 (第 22 号) 梅毒累積報告数

図表 8 発病数 (梅毒)



(資料) 中華人民共和国国家卫生计生委「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD: 標準偏差

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではない。また、2017年6月12日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものであるが、情報の正確性・完全性を保証するものではない。